



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号

文化部 2020 ①

毎回、大会で結果を残すにしている囲碁部。休日の活動は大会や遠征のある場合のみ活動している。対局を通じて先輩から後輩へ技術の継承をし、部全体の實力の向上に努めている。顧問の坂本秀誠先生の積極的な姿勢が囲碁部の特徴の一つだ。色々な大会の場を用意されるだけでなく、部員と対局も行われている。囲碁部部長の栗田珠羽君(2-1)は部活

止となり成果を発揮する舞台が少なくなかった。未来のことは分からないので、先のことを見据えた練習をしたい。また自分たちの経験をできる限り1年生に伝え、1年生、2年生ともに成長していき、部全体のレベルを上げていきたい」と前向きに語った。

大会へ、日々研鑽



▲厳肅な雰囲気の中、碁を打つ囲碁部員

囲碁部

動の雰囲気について「対局中は静かだ。対局では経験をもとに試合を運ぶが、複雑化したときには自分の直感を信じて戦う。また勝つことも大事だが、『礼で始まり礼で終わる』という礼儀も大切にしている。普段は仲が良く対局中以外は和気あいあいとしている」と笑顔で話した。また今後の目標について「新型コロナウイルス感染症の影響で主要な大会が中

基本情報

人数:13人(2年生4人 1年生9人)

活動場所:被服室

活動日:おもに平日

将棋部は月曜日を除く平日に第一本館の4階の和室で活動している。将棋部部長の藤居亮介君(2-3)は普段の活動について「去年は詰将棋を練習する時間が多かったが、新型コロナウイルス感染症の影響で例年よりも部活動の時間が短い。なるべく早く経験を積むために対局の時間を多く取っている」と説明した。また部活の雰囲気について「ゆるい雰囲気が先代からの伝統なので、早く1年生と仲良くなりたい。部活動中は将棋のことだけを考えられるよ

んだ。藤居君は将棋について「将棋は頭脳スポーツと言われるほど集中力を要するスポーツだ。そのため夜更かしなどでは集中力が欠くことは弱点となる。休むこともその人の強さの一つだ。対局中は、先の手を考えて指したり、ミスを確認し返さないようにしたりしている。また先輩からミスしたところを具体的に教えてもらうことでより精度を高めている。将棋を通じて色々な考え方を学ぶことが楽しさの一つでもある」と笑顔で語った。

盤上にて語る

将棋部



▲対局に集中する将棋部員

基本情報

人数:8人(2年生3人 1年生5人)

活動場所:第一本館4階和室

活動日:平日(月曜日を除く)

うな心地の良い空間を作りたいと思う」と微笑